

Time Is Going

作・サカイリユリカ

登場人物

並ぶ人1〜27

男A

男B

フケ愛好家

1ミリ男

メジャー女

時間売り

行きずりの男

行きずりの女

並びたい人

声

疲れた人

成金男

業者

客入れ中、舞台は幕が半分以上降りている。

幕が降り切っていない部分からは人の足だけ見え、開演するまでの間一人、また一人と列になつて並んでいく様子が分かる。

——開演。幕が全て開くと、そこには舞台下手のハケ口に向かって奇妙な行列がのびている。(上手側にはまだ3、4人は並べそうなスペースがある。) 上手から1人の男、登場。

男A　　えっ

行列をしばし呆然と眺める男。

男A　　なんですかこれは

行列は、定期的に前に進んでいる。じれったく半歩だったり、結構進んで三歩だったり。なお、行列が進んで舞台上からハケてしまった人は、裏を通つてまた何事もなかったかのように行列の一番後ろへ並ぶ。

——男は、その様子を見ながら立ち去ろうとするが、気になってとうとう行列に並んでいるうちの一人に声をかける。

男A　　あの、すみませんこれ何の行列ですか

間。

並ぶ人1　並べば分かる

男A　　・・・はあ

男、別の人に話しかける。

男A　　すみません、

並ぶ人2　はい・・・?

男A　　これって、なんで並んでらっしゃるんですか

並ぶ人2　ここに列があるから、並ぶのよ

男A　　あー・・・そう、ですか

並ぶ人2　そうですよ

列はまた、前に進む。

男、下手の方へ進み列の前方に並んでいる人に話しかける。

男A すいません、あのおこの行列って何なんですかね  
並ぶ人3 なんだって・・・？  
男A え、や、ですから・・・  
並ぶ人3 (後ろを振り向いて) あ  
男A へっ？  
並ぶ人3 もうこんなに後ろに人がいたんだ  
男A ああ  
並ぶ人3 あんた、早くしないと  
男A え  
並ぶ人3 だから早く並ばないと、また人来ちやいますよ  
男A ああ、あの  
並ぶ人3 ほら今のうちに  
男A え、なにが  
並ぶ人3 一列だからね一列。ほら早く一番後ろ  
男A はあ、はい

男、促されて列の一番後ろへ行く。  
一番後ろにいる人に話しかける。

男A ここが最後尾ですか  
並ぶ人4 ああ、はい  
男A いやあ・暑い中、大変ですよねえ・  
並ぶ人4 そうですね。こんなに暑くなるとは思いませんでしたよ  
男A ですよねえ。いつから並んでらっしゃるんですか  
並ぶ人4 いつから・えーいや、あの、はは、お恥ずかしい。実はその・  
男A 気付いたら並んでましてね、あはは  
男A 気付いたら・ですか  
並ぶ人4 まあね、大丈夫ですよ、並んでればいつか順番が来ますから  
男A いや、まあそりやそうですでしょうけど・  
並ぶ人4 きっと待つかいがありますよ、こんな長いし  
男A そうですか・  
並ぶ人4 不服そうですねえ  
男A そんなことないですよ  
並ぶ人4 これはね、受身の状態に見えるでしょ？

並んで待つてるだけなんだろうって。

でもこれはただ待つてるんじゃないですか。並んでるんです。

並んでるんですよ。充分……、最低限積極的に能動的だと思いますか

男A 地味だと思いますけど

並ぶ人4 地味？じゃあ派手にやれと……？

男A いや、私はそういうことを言いたいわけでは――

上手から出てきた並ぶ人5、当たり前のように男の後ろに並ぶ。

男、自分が列に並んでしまっていることに啞然とする。

男A え、ちよっと・何してるんですか

並ぶ人5 え、何かしなきゃいけないんですか

男A いや、そういうわけじゃないんですけど、

並ぶ人5 じゃあ何してるように見えますか

男A え、いや、あの・並んでらっしゃるんですよ

並ぶ人5 分かってるじゃないですか

男A はあ

並ぶ人5 分かってるのになんで聞くんですか？あれか、確認取るため？

男A 確認って、一体何の確認ですか。並んでらっしゃるのはそりや分かり

りますよ。

・・だから、何でそこに並んでいるんですか

並ぶ人5 何で……？

男A そうです。一体何のために僕の後ろにわざわざ並ぶんですか

並ぶ人5 ・・何のためってそりやあ、結局は自分のためじゃないかな。うん、

別に誰かのために並んだわけじゃありませんよ。

私、正直でしょう

男A そうじゃなくて

並ぶ人5 はい？私が正直じゃないとおっしゃりたいんですか

男A そんなことどうでもいいです。

あー、・・だから僕は別に並ぼうと思ったわけじゃないんですよ。

いや、そりやちよっとは並んでみようかなっていう気もあつたかも知れないけど、でも本気で並ぼうとはまさか思ってたわけですよ。

しかし、見てくださいこの状況……

完全に並んじやってるじゃないですか僕は、あなたがね、僕の後ろに並んでしまったことが原因なんで・・・

並ぶ人 5 (ふいに男の肩を叩いて) あ、前前

男 A (列が前に進んでいることに気付き) あっ・・・ああ、すみません

列、前に進む。男も並ぶ人 4 に続き前に進む。それに気付く並ぶ人 4。

並ぶ人 4 え・・・なんでついてくるんですか

男 A いや、別にあの、ついて行ってるわけでは・・・

並ぶ人 4 (前の人に) すみません、あの、後ろの人がついてくるんですけど・・・

並ぶ人 6 え、大丈夫ですか

並ぶ人 4 (男に) あなた、なんなんですか

男 A えっ？

並ぶ人 4 なんでつけてくるんですか

男 A えっ、だって、それは

並ぶ人 6 もしかしてあなたに近づくチャンスを狙ってたんじゃないですか

並ぶ人 4 そうかもしれない

男 A そうかもしれない、じゃないですよ。ついていく他ないからついて

いつてるんですこっちは

並ぶ人 4 どうして私の後ろなんですかじゃあ

男 A 知りませんよそんなの そういう順番になっちゃったんだからしょう

うがないでしょう

並ぶ人 4 しょうがないくないわよ だって選んだんでしょあなた、私の後ろを

男 A 選ぶわけじゃないでしょう

並ぶ人 4 私に選ぶ価値なんてないってことですか

男 A そんなこと言ってますんよ

並ぶ人 4 じゃあどうして

男 A どうしてって

並ぶ人 4 ずっとついてくるんですか

男 A そりゃそうなると思いますけど

並ぶ人 4 ほんとですか

男 A ・・あの、ついてこられるのががそんなに嫌なら僕をあなたの前に

行かせてください それならいいでしょう

並ぶ人 4 え、なに、抜かすの私を

並ぶ人 6 割り込む気ですか

並ぶ人 4 信じられない

男 A はあ？だからどうして・・・ああもう、（並ぶ人 6 に）じゃあいつそあなたの前に行かせてください

並ぶ人 6 私の前に・・・？

男 A そうですよ

並ぶ人 6 嫌ですよなんであなたに先を越されなきゃならないんですか

男 A はあ？

並ぶ人 4 あなた、順番を守るってこと知らないんですか

男 A 分かりますよそれくらい。もういいです。とにかく、じゃあここに並らばせてもらいますから

並ぶ人 4 どうしましょう

並ぶ人 6 いいんじゃないですか、とりあえず並ばしといたら

並ぶ人 4 まあ、それもそうね

男、列に続く。下手側寄りに並んでいる人の 1 人が、前に進む際に足元に何かあったかのように少し避けて通る。その様子を見て、その後ろに続く人も避け、またその後ろの人も・・・という具合にみんな前の人に倣っていく。

上手から 3 人、連れ添ってやってくる。まだ列には並ばずにその場で固まって喋っている。

フケ愛好家 フケって・・・いいですよねえ

並ぶ人 7 ・・・・え

フケ愛好家 だからフケですよ、頭を搔くとポロポロ落ちてくる・・・

並ぶ人 8 ああいや、それは分かります

フケ愛好家 いいですよねえ

並ぶ人 7 ・・・・

並ぶ人 8 え、あの・・・いいっていうのは

フケ愛好家 素敵ですよねえ

並ぶ人 8 はあ

フケ愛好家 いやね、私割と・・・というか結構好きなんですよ

並ぶ人 7 フケが？

フケ愛好家 そうそう

並ぶ人 7 あー・・・そうなんですか

フケ愛好家 いいですよねえ

並ぶ人 8 えっ・・・ああ、いや

フケ愛好家     もしかして嫌いだったりしますか  
並ぶ人8     いや、別に嫌いとは言っていないですよ・・ただちよつと  
フケ愛好家     ちよつと・・？  
並ぶ人8     嫌いではないですよ、あの、普通です  
フケ愛好家     普通  
並ぶ人8     はい  
フケ愛好家     あなたは  
並ぶ人7     私は・・そうですね・・

列の前方の一人が、ちらつと並ぶ人7の方を見る。

並ぶ人7     じ、実は恥ずかしながら私も、フケが好きでして  
並ぶ人8     え・・  
フケ愛好家     そうですか、そりや良かった  
並ぶ人7     やっぱいいもんですよね、フケは  
フケ愛好家     ええ、ええ

フケ愛好家、並ぶ人7、並ぶ人8の方をちらつと見る。

並ぶ人8     あ、あの！  
フケ愛好家     はい？  
並ぶ人8     私も先ほど急に、フケに一目ぼれしてしまいました  
フケ愛好家     ということは  
並ぶ人8     あの、好きになりました  
フケ愛好家     そりや良かった  
並ぶ人8     もうなんか、どうして今まであの魅力に気付かなかったか不思議なくらいです  
フケ愛好家     いいですよねえ・・！白く光る、フケ・・！どういうタイプがお好みですか

一瞬の沈黙。

並ぶ人7     ああああ、タイプ・・タイプね・・それは――・・あなた、どうです  
並ぶ人8     えっ私・・私はその・・えーと、何でも好きですよお、好き嫌いななんてあるわけないじゃないですか！ねえ

並ぶ人 7

フケ愛好家

並ぶ人 7

えっ？ええ、ええ、そうですね。もちろん、好き嫌いなんてあつちやいけませんよ、どんなフケでも公平に愛すべきですハイあの、お二人ともなんだか少し・無理されてませんか無理・？いやいやめっそうもない、どうして好きなものを語るのに無理なんてする必要があるんですか、ねえ

並ぶ人 8

そうですね、ですからみんなフケの素晴らしさを広めてそしてみんなでフケを愛せばいいと思うんですね

並ぶ人 7

ええ、ええ、良いことおっしゃいますねえ・そう、ですからもつとあなたのお話を聞かせていただきたい

フケ愛好家

並ぶ人 7

私のフケ談義ですか

フケ愛好家

ええ、そりやあもう

並ぶ人 7

いやあ・しかしね、私ばかりが語っては交流の意味がない

フケ愛好家

といますか、だつて皆さん好きなんですから一緒に語り合った

フケ愛好家

方がいいと思うんですよ

並ぶ人 8

そんなそんな、私なんてまだほんとに未熟者ですから、

並ぶ人 7

語るなんてね、どの口が出来るんだつて感じですよ

フケ愛好家

もつと自分の好きなものに対しては堂々とすべきですよ？別に

並ぶ人 8

誰も咎めやしませんから、ね？安心してください

フケ愛好家

いや、でもですね・

フケ愛好家

フケが好きだなんて、どこか恥ずかしい隠したいって思つたら

フケ愛好家

つしやるんでしょう？でもいいんですよ、世の中にはもつとおか

フケ愛好家

しなものが好きな人がごろごろいるんですから。みんな隠してる

フケ愛好家

だけなんです。

フケ愛好家

こんな清潔な世の中でもねえ、いるもんなんですよ意外と、好

フケ愛好家

きつて言えば賛同してもらえて輪が広がるつてもんです

フケ愛好家

ですからねえ、安心して語り合いましよう

並ぶ人 7

フケ万歳！

並ぶ人 8

フケ最高！

並ぶ人 7

フケ万能！

フケ愛好家

その調子です・！

並ぶ人 8

フケ・

そのまま3人は盛り上がりつつ前に進み一列に並ぶ。

男 A

あの

並ぶ人 5

はい



男A ひよっとしてこの列ってなんか・あの、  
並ぶ人5 え

男A あなたもフケ好きの人なんですか

並ぶ人5 は？ああなたなんかまあ、かわいいよねフケって

男A かわいい

並ぶ人5 ええ

フケ愛好家 そうですよね！かわいいですよねフケ

並ぶ人5 ああ、はい、そうですね

フケ愛好家 いやあ、分かってらっしゃいますなあ

並ぶ人5 いえいえ、そんなそんな

男A フケかあ

並ぶ人5 え、なんですか

フケ愛好家 いいじゃないですかフケ

並ぶ人5 ねえ

男A え、いや、でもだってフケですよ

フケ愛好家 ・え、あのそれはもしかして、

フケのことをよく思ってたらしやらない

列、2、3歩前へ進む。行列の中ほどで起こる会話。

1ミリ男 (後ろの人へ向かって) ちょっと・！あの、何か近くないですか

並ぶ人9 え、そうですね

1ミリ男 もうちょっと離れていただけますか？

並ぶ人9 (離れてみて) これくらいですか

1ミリ男 あと、1ミリ

並ぶ人9 いいじゃないですか1ミリくらい、細かいなあ

・い、ち、ミ、リ。その1ミリが重要なんだよ。君には分からないかもしれないけどね、それは僕の中には確かに存在していて、僕のルールなわけ。それが、守られなきや僕は僕じゃなくなっちゃうんだよ。僕が僕であるためにはその1ミリだって譲れないんだよ・つまりね、・ねえ分かる？てか聞いてるさっきからぼうつとしてるみたいだけどもさあ・？

並ぶ人9 ああ・、車間距離みたいなもんですね、つまり

1ミリ男 そんなもんと一緒にしないでくれる？

並ぶ人9 そっか、1ミリだと(車間)距離あきらか守れてませんもんね

1ミリ男 そういう問題じゃないんだよ

並ぶ人9 どれくらい距離が安全なんだろうなあ

1ミリ男 だから・

並ぶ人9 あ、安全っていうかそもそも1ミリだったらもう、アウトですよ  
ね、完全に事故ってますよね1ミリの時点でもう

1ミリ男 1ミリ下がれて言ってるんだよ

並ぶ人9 いや、1ミリあるからギリギリ大丈夫かもしれないな

1ミリ男 だからその1ミリが重要なんだ・

並ぶ人9 ああもう、さっきから1ミリ1ミリって・・だいたいね、測つてもないのに分かるんですか1ミリなんて

1ミリ男 失礼な！分かりますよ、こちとら分かるから言ってるですよ

並ぶ人9 どうせ自分の感覚で、とかおっしゃりたいんでしょう？

1ミリ男 その感覚で、ほんとに1ミリあったらあなたも認めざるを得ないんじゃないですか

並ぶ人9 やってみますか、じゃあ

1ミリ男 いいですとも、じゃあいいですか・・

上手からメジャーをすると伸ばしながら女が出てくる。

1ミリ男、不意を突かれて呆気にとられる。

他にも女に気付いた何人かの人々は不審な視線を投げかける。

男A なんですかあの人

並ぶ人5 さっきからなんだか騒々しいですね

女は、その視線を気にする風でもなく行列の途中で止まる。

メジャー女 あの、すいません

並ぶ人10 はい・・？

メジャー女 あの・・今あなたがいる場所ね、あ、そう、そこ・・そこの  
今、ちょうどあなたが踏んでるあたり・・

並ぶ人10 私が3年前から予約してたんですよ

はあ？

(この際同時多発する会話)

1ミリ男 なんですかあの人

並ぶ人9 いや、知らないですけど



並ぶ人 1 0

だって、そしたら迷惑ですよ・・・（後ろに並んでいる人に向かつて）あなたも迷惑ですよ

並ぶ人 1 2

え

並ぶ人 1 0

だってホラ、あなただってせっかく並んでいたのにこの人がここに入っちゃったら順番抜かされちゃうんですよ

並ぶ人 1 2

ああ、そうか・・え、それは困るなちよつと

メジャー女

いいじゃないですか私 1 人くらい

並ぶ人 1 0

良くないですよ！たかが 1 人、されど 1 人です。あなたを認めたことによつて収集がつかないことになるかもしれないじゃないですか、順番を乱さないでください

メジャー女

少なくとも今はならないじゃないの

並ぶ人 1 0

はあ？この先のことを言ってますよ私は！

メジャー女

うるさいわね、とにかく予約した人優先でしょ！？

並ぶ人 1 0

予約も何も私は並んでたんですよこんな暑い中でずっと！

メジャー女

それと私の予約とは関係ないでしょうが！

並ぶ人 1 0

それを言うなら私が並んでたのと

メジャー女

あなたの予約も関係ないでしょ

並ぶ人 1 0

じゃあこの予約どうしてくれるのよ！

メジャー女

こっちの立場はどうしてくれるんですか！

並ぶ人 1 2

あのお・・あのちよつと、やっぱり駄目ですよ

メジャー女

何なのよアンタは

並ぶ人 1 2

なんと言いますか、ほら、ご利用は計画的でなければ

メジャー女

アンタには関係ないでしょうが。（並ぶ人 1 2 に）いいから早く

並ぶ人 1 0

どきなさいよ

並ぶ人 1 0

なんなんですかあなたはさっきから人が大人しくしてると思えばズケズケと・・だいたいね、一体何の予約なんです？こんな場

並ぶ人 1 2

所で、お花見でもするんですか

並ぶ人 1 0

今の時期だと、花火大会じゃないかな

並ぶ人 1 2

はあ？

並ぶ人 1 0

いやでも、3 年も前だからタイムカプセルかなんかかなア

並ぶ人 1 2

タイムカプセル？ここ掘れないでしょ・・？

並ぶ人 1 0

3 年前はもしかしたら掘れたんじゃない

並ぶ人 1 2

ああ・・土だったってこと

並ぶ人 1 0

そうそう

並ぶ人 1 2

砂浜だったかも

並ぶ人 1 0

それはどうかなあ。3 年でしょだって

並ぶ人 1 2

それはどうかなあ。3 年でしょだって

並ぶ人 1 0 ああ・・ですよね

並ぶ人 1 2 え、あなた掘るんですかここ

メジャー女 はい？何ですか掘るって

並ぶ人 1 0 この人スコップ持ってませんよ

並ぶ人 1 2 ああほんとだ。メジャーしか持っていない

並ぶ人 1 0 どうするんだろう、手で掘るのかな、

メジャーでは掘れないよな

手でここを、ええっ？（女を思わず見る）

メジャー女 いいでしょ何に使おうが！私の勝手じゃない

並ぶ人 1 0 いやいや、あなたはこの行列に並ぶ予定はなかったかもしれない

いですが結果的に並ぶっていうかこのね、

列に参加することになっちゃってるからにはあんまり勝手気ま

まにされても困るんですよ

メジャー女 予約した人優先じゃないんですか？ジョーシキよこれ。だいた

い私、どのくらいこの日を待ちわびてたと思ってるのよ

こっちは現在進行形で待ちわびてるんですよ

並ぶ人 1 2 とにかく私の予約を優先してもらわないと。（時計を見て）もう、

予約した時間を●分●秒（実際かかった時間）も過ぎちゃった

じゃないの

あんたがほんとに予約したんだかどうかもほんととは疑わしいも

んだ

（その場に陣取るようにどっかりと座り）したもんはしたんです

ちよっと・・

え、予約した時間過ぎたんでしょ

過ぎましたよあなたたちのせい

過ぎたなら予約は無効だろ

え

確かにそうですよね

無効は無効だ

だってそれはあなたたちが

もっかい並びなおしなよ

え

そうですよ、それがいいです、そうするべきです

だってこの予約は前にずっとずっと並んでいてやっと取れたも

のなのよ

並ぶ人 1 0 だからそれが無効になったんだから、また並びなおせばいいじやないですか

並ぶ人 1 1 取り直し取り直し

メジャー女 また予約をとれっていうの

並ぶ人 1 0 そうですよ、楽しみは後にとっておいた方がね いいでしょ

メジャー女 そんな

並ぶ人 1 2 ほら早く

並ぶ人 1 1 早く

メジャー女 でも、そんな

並ぶ人 1 0 いいから、早く

行列、また前に進む。並ぶ人 1 0、1 1、1 2、行列からメジャー女を

締め出す。

メジャー女は仕方なくその場にメジャーを放置し一番後ろに並ぶ。

並ぶ人 9 すいません、それとっていただけですか

メジャーが一番近い場所にいる人がそれを取り、並ぶ人 9 に人々を伝って渡す。

1 ミリ男 なんですか

並ぶ人 9 (かがんでメジャーを出し) ああ、やっぱり間違ってますよ

1 ミリ男 え

並ぶ人 9 だから、あなたの 1 ミリ、1 ミリじゃなかったですよ

1 ミリ男 いや、それは

並ぶ人 9 ほらね、だから感覚なんてアテにならないんですよ

1 ミリ男 もう 1 回測って

並ぶ人 9 前、進んでますよ

1 ミリ男、前に進む。

下手から、時間売りがやってくる。行列の前方にいる人に話しかける。

時間売り あ、すいませんそのアナタ

並ぶ人 1 3 え、あ、はい・・・?

時間売り 僕の時間を買ってくれませんか

並ぶ 1 3 え・・・

時間売り いや、だから僕の時間。なんか余ってる気がするんで、どうせならお金に変えたいんですよ。そんなに安すぎなければいいですから、ね、買いませんか

間。

並ぶ人13 え、買うとどうなるんです

時間売り 僕が前に行くんじゃないですか

並ぶ人13 金もらって、そんで前にも進むって・・・？

時間売り そうなりますね

並ぶ人13 ちよっと・・・それは、ずるくないですか？あきらかに

時間売り ずるくないですよ。だって、あなた僕の時間もらえるんですよ？

寿命、延びるじゃないですか

並ぶ人13 でも、あなたは前に進めてお金ももらえるんですよ？僕は時間し

てもらえない。あなたの方がトクしてるでしょう

時間売り あなた、そもそも時間を売るってね、命削るようなもんなんです

よ

並ぶ人13 知りませんよそんなこと。だいたい、時間買ったところで私の寿

命増えるか分かんないじゃないですか

時間売り ここに並んでる時間は延びると思いますけどね、少なくとも。

もっと並んでられますよ

並ぶ人13 え・・・ていうか、そしたらあんたがさ、

待つイミがなくなるんじゃない

時間売り いや、だから僕は待ちたくないんですよ。だって時間のムダじゃ

ないですか

待ちたくない・・・？

時間売り なるべく、ムダは減らしたいじゃないですか減らせるもんなら

並ぶ人13 並ばずして何を手に入れるっていうんですあなたは？

時間売り 時間に拘束されたくないんですよ僕は

並ぶ人13 だからってね・・・あんた、もっと自分を大切にしないさいよ

時間売り ですから、今の自分の時間を大切にしているんじゃないですか

並ぶ人13 ・・・・だいたいね、ムダムダ言ってるけどこうやって私とやりと

りしてる時間もムダじゃないんですか

時間売り やむを得ないんですこれは。ムダにはムダがつきものです

並ぶ人13 結局ムダなんじゃない

時間売り 自分のためにしてるんだから価値のあるムダですよ

並ぶ人 1 3

・・・

時間売り

仕方ないなあ、別の列へ売り込みに行ってくることにしよう

並ぶ人 1 3

この近くには他に列なんてありませんよ

時間売り

え

並ぶ人 1 3

他に行くなんてそれこそムダです

時間売り

いや、でも見かけましたよここに来る前に

並ぶ人 1 3

それは列じゃないです

時間売り

は？

並ぶ人 1 3

仮に列だったとしても、

時間売り

はい

並ぶ人 1 3

無くなるのは時間の問題ですよ

時間売り

無くなる

並ぶ人 1 3

そうです

時間売り

この列はどうなんですか

並ぶ人 1 3

この列が無くなるはずないでしょう

時間売り

はあ

並ぶ人 1 3

分かったら並んでください

時間売り

え

並ぶ人 1 3

一番後ろに

時間売り

そしたら待たなきゃいけないじゃないですか

並ぶ人 1 3

それが一番効率がいいです

時間売り

効率って

並ぶ人 1 3

とにかく並ぶに越したことはないです

時間売り

いや、でも

並ぶ人 1 3

最初から売りになんて来ないでそうすればよかったですよ

時間売り

・・・

並ぶ人 1 3

並ぶのは、あなた流に言えば価値のあるムダですよ

時間売り

でも、やっぱり私は

並ぶ人 1 3

ああ、聞き分けが悪いなあ。早く後ろに行ってくださいか

並ぶ人 1 3、時間売りを小突く。

時間売り、仕方なく行列の最後尾に並ぶ。

男 A

あの、

並ぶ人 4

はい？

男 A

ちよっと疑問に思ったんですけど



並ぶ人 4

ええ、

男 A

わたしたちって、こっち側向いてますけど・・・でも、本当にこっち向きで合ってるんですかね

並ぶ人 4

と、言いますと・・・？

男 A

もしかしたら、(上手の方を振り返り)こっち向きかもしれないし、

並ぶ人 4

(どこか違う方を向いて) 向こう側かもしれないですが

並ぶ人 4

でも、みんなこっち向いてましたけど・・・？私が並んだ時から、

男 A

ずっと・・・

男 A

でもでも、もし、もしですよ、本当は(上手の方を振り返り)こ

並ぶ人 4

っち向きだとしたら、(向き直り)こっち向きの場合だった時より

男 A

わたしたちは、たぶん、列の前の方になると思うんですよ！

男 A

それってつまり、順番が早く回ってくるってことですか

並ぶ人 4

そうです！

男 A

それって歓迎すべきことですか・・・？

男 A

え

並ぶ人 4

いや・・・だって、私はもうちょっと待っていたんですよ

男 A

順番は早く回ってくるに越したことはないじゃありませんか・・・？

並ぶ人 4

そうとも限りませんよ。私は並んでるのが好きなんです。並ぶか

男 A

らしいんですよ

男 A

はあ・・・

並ぶ人 4

もしかしてあなた、もう並んでるの飽きてきましたか・・・？駄目

男 A

ですよ、耐え性のない男は嫌われますよ

男 A

え・・・あ・・・そうか、だからあるとき・・・、

並ぶ人 4

すいません、もしかしてなにか思い当たっちゃいました

男 A

いえ・・・、

並ぶ人 4

いいんです、私が悪かったです・・・思い当たっちゃったんですよ

男 A

ね？あのほら、大丈夫ですよ。ちょっと飽きっぽいくらいの方が

男 A

色んなことを体験できると思いますか・・・

男 A

・・・

並ぶ人 4

あー・・・、過去にとられるのはよくありませんよ。人は常に前

男 A

を向いて前進すべきなんです！そうでしょ？どんな過去があった

男 A

のか知りませんが、別にたいした問題じゃないですよ。昔のこ

男 A

となんか忘れて未来を見ようじゃありませんか

男 A

どうしてあなたはそう前向きなんです

並ぶ人 4

あなたが後ろ向きだから前を向かせてあげてるんじゃないですか、

男 A

まあ最も今前向いてますけどねあなた

男A 過去を忘れても、未来が明るいととは限らないですよね？

並ぶ人4 そんなの、進んで見なきゃ分かんないでしょう・・・！（にこやかに）あなた現に今までこの行列と一緒に進んできたじゃないですか。もし嫌ならここで止まったらいかがですか。

男A それはちよっと・・・止まるっていうのは・・・

並ぶ人4 困った人、止まることにも耐えられないなんて

男A

並ぶ人4 仕方ないですね、じゃああなたが気分を紛らわせられるようにあ

つち向いてホイでもやりましょう

男A

並ぶ人4 （疑う人におかまもなく指をさす）ほら、あっちむいてホイ

前に進む列。疑う人、観念してあっち向いてホイをやりながら前に進んでいく。

上手からやってくる男女。見つめ合い、さながら恋人同士のようなようである。

行きずりの女 あの・・・今さらですけど私たち・・・って、

行きずりの男 成り行きですよ

行きずりの女 あなたと私がこうなっちゃったのはやっぱり成り行きですか

行きずりの男 ええ、そうでしょうね

行きずりの女 ・・いやだわ私ったら、成り行きの関係だなんて・・・

行きずりの男 何今更恥ずかしくってるの、君と僕の仲なのに

行きずりの女 だってなんだか成り行きて・・・成り行きの関係だなんて、そ

の・・・ふしだらじゃありません？

行きずりの男 いいじゃないですかじゃあ、その、ふしだらで

行きずりの女 でも・・・なんだか、ほら、響きが・・・

行きずりの男 いい響きじゃないですか、ふしだら

行きずりの女 そうかしらねえ・・・

行きずりの男 不安ですか

行きずりの女 不安だわ

行きずりの男 不安なだけ？

行きずりの女 ・・ちよっと、楽しみ

行きずりの男 でしょ

良い雰囲気の中の男女の様子を見て顔をしかめる人たち。

並ぶ人 1 4      ほんと困りますねあの人たち  
並ぶ人 1 5      ここどこだと思ってるんでしょうね  
並ぶ人 1 6      見られると興奮するタイプですかね  
並ぶ人 1 4      完全に2人だけの世界に入ってるよ  
並ぶ人 1 7      これだから若いもんは・・

2人は隣同士になって列に並ぶ。

並ぶ人 1 8      ちょっと・・2人で横に並ばないでくれませんか  
行きずりの男      え

並ぶ人 1 8      1列なんですよこの列

行きずりの女      いや、だってわたしたち2名様だし一応

行きずりの男      だよな

並ぶ人 1 8      そんなの見りや分かりますよ。でもこの列1列なんで

行きずりの男      え、ちゃんと並んでるじゃないですか

並ぶ人 1 8      だから横に広がらないで1列になってくださいよ、そうじゃないと後から来た人も2列で並ぶもんだって勘違いするじゃないですか

行きずりの女      それは勘違いする人がいけないんじゃないの。いいじゃない私たちは

並ぶ人 1 8

あのですね、列は1列でどこまでも真っ直ぐなもんだって相場が決まっています

だいたい、順番が来たらどっちかが先にならなきゃいけないんですよ？

行きずりの男      まあそりやそうですね

並ぶ人 1 8      分かったらさっさと並んでください

行きずりの女      ・・・え、どうしましょう

並ぶ人 1 8      早く

行きずりの男      君が前に行ったら

行きずりの女      無理よ、私があなただの前なんて、無理だわ。あなたが先に行つて

行きずりの男      え、でも

並ぶ人 1 8      まだですか

行きずりの女      いいから、ほら（男の後ろに行き、列におとなしく収まる）

行きずりの男、女の方に体ごと向き直る。

2人、向き合ったまま進んでいく。

行列が前に進む間に、上手から何人か人が並びに来る。既に、上手側  
人が入るスペースはない。

上手の舞台袖から突然声がする。

声 すみません、ここから先は道路なので並ばないでください

並びたい人 え

声 あの、だからそこはもう道路なんです。車来ますよ

並びたい人 え、だって仕方なくないですか。だってこの人の後ろに並ぼう

としたらここになっちゃうんですよ

声 じゃあ並ぶのあきらめてください

並びたい人 え、なんでアンタにそんなこと言われなくちゃいけないんです

か

声 みんなが困るからです

並びたい人 みんなって誰ですか？

声 だからこの道を通る人とか・・・だいたい公道なんですよそこは

並びたい人 ・・コード・・？

声 公道、です。おおやけの、みち。分かりますか

並びたい人 あなた、なんなんですか

声 とにかくダメなんですここから先は。私、あなたがどくまでこ

こ立ってますから

並びたい人 ・・あなたも暇ですね

声 これが私の役目なんです

並びたい人 そうですか・・

並びたい人、あきらめたのか上手から出てきてどこかへ行ってしまう。

と、突然に伝言ゲームが始まる。下手から声が聞こえる。

袖の中の人 今半分くらいです

下手にいる人は、後ろの人へ、後ろの人はその後ろの人へと伝言ゲ  
ームが展開される。(回している内容は聞こえない) 一番最後の人  
へ伝言が回る。

並ぶ人 19 . . . はんぺん食いたいです . . . ?

並ぶ人たち、その言葉に一斉に顔を見合せる。

——並びたい人、再びどこかから戻ってきて最後尾に並ぶ。しかし、後ろに並ぶのではなく横に並ぶ。

並ぶ人 19 え、何で曲がるんですか  
並びたい人 ん . . . ? なんですか  
並ぶ人 19 いや、だから . . . なんで曲がってらっしゃるんですか  
並びたい人 だってこの先は公道だからダメだって言われたんですよ。だってここですら曲がればいいじゃないですか。そしたら並べるし . . .

並ぶ人 19 . . . ていうか、あそこが公道だって言ってますけどね、ここだって十分公道だと思っただけです  
並びたい人 とにかく曲がらないで下さいよ。なんかややこしくなるじゃないですか。

並びたい人 この列は真っ直ぐでなきゃいけないんですよ。曲がるなんて見たことも聞いたこともない。潔くあきらめたらいいかですか  
並びたい人 どうしてあなたにそんなこと言われなきゃならないんですか  
並びたい人 だったら、あなたこそ潔くあきらめて家帰ってください。そして  
並びたい人 たら僕、そこに並べますから  
並ぶ人 19 あなたと交代しろってことですか？嫌ですよ、私こう見えても  
並びたい人 そんなにお人よしじゃないんです

並びたい人 ケチ  
並ぶ人 19 ケチで結構  
並びたい人 ドケチ  
並ぶ人 19 ドケチでも結構  
並びたい人 ビンボー症  
並ぶ人 19 ビンボー症でも大いに結構  
並びたい人 ビンボーゆすり  
並ぶ人 19 ビンボーゆすりでも . . . えっ

2人のどうしようもないやりとりは、小声で続いていく。  
列、ほんの少し前に進む。

疲れた人 . . . なんだか . . . 疲れませんか

並ぶ人 20 え

疲れた人 ずっと並んで、もう足が棒みたいですよ

並ぶ人 20 (思い出したように) ああ、まあ確かにちよつと疲れましたね

疲れた人 座りませんか

並ぶ人 20 この場にですか

疲れた人 ええ、はい。(ゆっくりとその場に腰を下ろし)・・・ふう、疲れた

並ぶ人 20 (つられるように腰を下ろし)・・・あー・・・なんか、久しぶりに座ったような・・・、

間。

疲れた人 (列の前の方を指さし) みて下さいよ、あの人なんてマイ椅子を

持ってきてるみたいなんです

並ぶ人 20 うわ、ほんとだ・・・

疲れた人 迷惑ですね

並ぶ人 20 ほんと、迷惑ですよ。まったく、ああいう人がいるから・・・

疲れた人 だいたい、なぜわざわざマイ椅子を持ち運んできてまで座るんですか

並ぶ人 20 え

疲れた人 自分の足で支えないなんて、なんと情けない

並ぶ人 20 ほんとうです、たかがこれくらいの時間で。何くつろいでんだけ感じですよ

疲れた人 そんなに大して疲れてもないクセに、ラクだからって背もたれによりかかるわ

並ぶ人 20 飽きたからって我慢しないであくびするわ

疲れた人 終いには眠くなってきたから躊躇せずに寝るわ

一瞬の間。

並ぶ人 20 信じられませんよねあんな人がいるだなんて

疲れた人 ええ、同じ並んでいる人として恥ずかしいです

並ぶ人 20 我々の恥ですね

疲れた人 ほんとです、何も知らない人から見たら我々もあの人と同じように見なされてしまうんですから

並ぶ人 20 ああ嫌だ、恐ろしい恐ろしい

間。

疲れた人 ところで、あのイスってほんとにマイ椅子なんですか

並ぶ人20 知りませんが、そうなんじゃないの

疲れた人 でももしかしたら、あの人のじゃないかもしれないですか

並ぶ人20 ああ、確かにそれもそうですよね

列、前に少し進む。マイ椅子に座っている人、イスごと前に進む。

疲れた人 あの人、今イスごと進みましたよ

並ぶ人20 ですよ

疲れた人 え、やっぱりあの人のなんですかイス

並ぶ人20 そんな・だつてそしたらどどん先延ばしされちゃいますよね

疲れた人 先延ばし？

並ぶ人20 え、だからあの人がイス持って移動してたら僕たちがあのイスに

座るの

疲れた人 ああ、え、・座りたいんですかあなた

並ぶ人20 そうとは言ってませんよ。ていうか現に私たち座ってるじゃない

ですかもう。イスに座るかどうかの話ですよ

疲れた人 私たちは今座ってないですよ、腰を下ろしただけです

並ぶ人20 はあ

疲れた人 まさか、もうこの体勢がつかなくなってきたんじゃ・

並ぶ人20 え・・？

疲れた人 見たところ、日ごろ足腰鍛えてなさそうですし・今、じわじわ

と腰にキてるんじゃないやしません？

並ぶ人20 失礼な、これでも鍛えてます。毎日ずっと何時間も立ちっぱなん

ですから

疲れた人 それって鍛えてるって言えませんかよ

並ぶ人20 じゃあそういうあなたはどうかなんですか

疲れた人 ・・分かりました。ではこうしましょう

疲れた人、おもむろに正座する。

疲れた人 さあ、あなたも正座してください

並ぶ人20 え・・？

疲れた人 出来ないんですか正座？

並ぶ人20 いや、出来まずけど・・・今ほら、靴はいてるんで出来ないって言うか・・・汚れちゃうし

疲れた人 だったら靴を脱げばいいでしょう。それとも何ですか、あなたは家の中でも靴を履いてらっしゃる・・・？

並ぶ人20 スリッパなら履いてますけど

疲れた人 スリッパ・・・？ははあ、それは殊勝な心がけですね

並ぶ人20 いえ、なに、当たり前のことですよ

疲れた人 それはそうと・・・あなた、用を足すときってどうしてます？まさか洋式トイレにのうのうと座ってるんじゃないでしょうね・・・？もちろん、和式ですよ

並ぶ人20 和式に決まってるじゃないですか、何をいまさら

疲れた人 じゃあもちろん、ご飯を食べるときは床に正座ですよ・・・？ついでに言うと食事は箸二本だけですよね

並ぶ人20 も、もちろん・・・まあ、あの、正確に言わせていただくなら床ではなくてイスの上に正座してますけどね！

疲れた人 イスの上に・・・？

並ぶ人20 そうです・・・！それから、食事はお箸だけですよもちろん、箸二本だけ

疲れた人 え、イスの上に・・・？

並ぶ人20 そうですよ・・・！

疲れた人 スリッパはいたまま、ですか

並ぶ人20 そんなわけないでしょう、ちゃんと脱ぎますよスリッパ  
疲れた人 ではなぜ今ここで靴脱いで正座しないんですか！？

列、前に進む。

並ぶ人20 あ、動きましたね

並ぶ人20、前に進むもうとする。立ち上がろうとしない疲れた人。

並ぶ人20 (気づいて) あの・・・どうしたんですか

疲れた人 いえ、あのちよっと

並ぶ人20 まさか、

疲れた人 そんなことありませんよ！私は正座し慣れてるんですから！ホラ・・・



疲れた人、無理やり立とうとするが途中で立てずに崩れ落ちる。

疲れた人 (足をさすりながら) いたたた・・

並ぶ人 2 0 やっぱりしびれてるんじゃないですか

疲れた人 ・・・

並ぶ人 2 0 大丈夫です、すぐ直りますよ。それまで肩でもお貸ししましょう

か

疲れた人 結構です

疲れた人、ふらふらと足を引きずるようにしながら列から抜ける。

並ぶ人 2 0 え、抜けちゃうんですか

疲れた人 やつてられないんで、帰らせていただきます

並ぶ人 2 0 そうですか・・、そりや残念だ

疲れた人 なんか並んでても、順番なんて回ってこないんじゃないかと思うんですよ

並ぶ人 2 0 え？

疲れた人 もう並んでることに疲れました

並ぶ人 2 0 でも並ばなかったらずっとこのままですよ

疲れた人 これからも回ってくるかわからないのに並ぶくらいなら、このままでもいいや

並ぶ人 2 0 せっかくここまで進んだのに・・

疲れた人 来るといいですね、順番

疲れた人、後ろを振り返ることもなく去っていく。並ぶ人 2 0、その去り際を見つめている。

並ぶ人 2 1 え、どうしたのあの人

並ぶ人 2 2 抜けたんでしょ

並ぶ人 2 3 帰られたんですか

男 やっぱり、なんか僕も帰ろうかな

並ぶ人 4 え。今までずっと私の後ついてきたくせに、いまさら抜けるわけですか

男 何をそんな

並ぶ人 4 私のこと裏切るわけですか

男 いやいや、誰もそんなことは

並ぶ人4 じゃあ並んでればいいんですよ

男 しかし・・なんだか並んでいても何かを望むことしかできないし何を望むんですか

男 え、だからその、この列の先に待ってるものとか

並ぶ人4 私たちは並んでるだけでいいんですよ

男 え

並ぶ人4 だから、ただ並んでるだけでいいんです

男 いや、でもこんなに待ってるんですから、望んじゃいますよね

並ぶ人4 そうですか？期待するまでもないですよ

男 え

並ぶ人4 だって列になってるんだから良いものが待ってるに決まってるじゃないですか

男 ああ

並ぶ人4 新しい、見たこともないようなものですよきつと。ね、当り前なんですこの先のが格別なのは

男 そうですよねだからこんなに並んでるんですよ。だから私たちは安心して並んでいられる

並ぶ人4 そう、ただ並んでいればいいんですよ 気を病んで考えることなんて何もない

男 ここにただ並んでいればいいんですよ

並ぶ人4 分かっているじゃないですか

舞台上手から、業者が成金男を案内しながらやってくる。

業者 たぶん、かなり、お気に召されると思うんですよ

成金男 それは楽しみだ

業者 (空間を指し示して) こちらで、ございます

成金男、空間をぐるっと見渡す。たちまち目が輝きだす。

成金男 おお・・素晴らしい・・実に、素晴らしい！！この空間、全部買います

業者 (勢いよく頭を下げ) ありがとうございます！みなさん、お聞きに

なりましたか？この空間はたった今、こちらの御方が全部買い占められました

ざわつく一同。

成金男 さすが、君に任せてよかったよ  
業者 そう言っていただけだと光栄です。(懐から紙とペンを取り出し)  
さ、では、こちらにサインをですね・・

並ぶ人21 全部・全部ってあなた、  
成金男 はい？

並ぶ人21 全部っていうのは、どっからどこまで買ったんです？  
成金男 それは、上から下までですよ

並ぶ人21 上って、一番上はどこらへんまでですか  
成金男 そりや大気圏までですよ。さすがに私の財力では宇宙までは手が  
出せませんからなあ、はっはっはっ

並ぶ人21 それってつまり、ロケットとかが侵入してきたら  
成金男 もちろん集金させてもらいますよ。

業者 航空会社にも申請を出さなきゃな・・いや待てよ、逆か・  
航空会社が俺に申請をだな・  
(咳払いをして)あ、あの、サインを・・！

成金男 ん？ああ、ああ。えーと・・

並ぶ人21 われわれはどうなるんですか

成金男 どうっていいますと・・？  
並ぶ人21 だって、この空間あなたが買ったわけでしょう？てことは、持ち  
主ですよ

成金男 ええ、持ち主です  
業者 いえいえ、まだ正確には持ち主ではありません。なぜってここに  
サインしてないからですよ！

(紙をひらひらさせ) さき、早くこちらへ

成金男 おお、そうかそうか。私としたことが、つい興奮してしまつて・  
何せ、こんな上物の空間を買うのは久々だからねえ

業者 気に入っていただけたようでも私としましても非常にうれしい限り  
です

成金男 見て回っても良いかね

業者 ええはい、もちろん

成金男 どれ・・、

成金男、空間を歩いて見て回る。

成金男 いやあ・・やはりいいね、ここは。特にこの辺なんかなかなか・・  
業者 そうでしょう

成金男 お、あっちの角のあたりも良さそうだな  
業者 ええ、ええ

並ぶ人 2 1 あのお・・取り込み中しませんけど・・あなた、下の方はどう  
なんでしょうか  
成金男 は・・・？

業者 なんなんですか、あなたは・・！失礼にもほどがありますよ。  
だいたいね、この空間はこの方がお買い上げになったから今はも  
うこの方のものであって、その中に堂々と身を置かせてもらって  
るっていう立場なんですよあなたは。わかりますか？それなのに、  
なんですその言いようは・・！

並ぶ人 2 1 いや、だから、下はどこら辺までお買い上げになられたのかと思  
いましてね

業者 ・・・・  
成金男 ああ、そういうことですか。下はそうですね・・例えば温泉で  
も出てきたらそれは私のものだと思うんですがね

業者 そうですとも、もちろんあなたのものですよ  
成金男 まあここに温泉作れるだけの敷地があるかは甚だ疑問ですがねえ、  
ははは

並ぶ人 2 2 あ、足湯なんてどうです？  
成金男 足湯・・ああ、その手がありましたねえ・・  
並ぶ人 2 2 でもこんなところに人来るかなあ  
業者 足湯だけだと儲けは見込めないでしような、あと集客も

並ぶ人 2 2 今まさに作っていただければ、並び疲れた私たちの足を癒すには  
ちようにどいんですかね？それならここに並んでいる我々はみん  
な良いカモですよ足湯の  
成金男 いくらなら払いますかねえ

業者 時間制にしたらいかがですか  
成金男 10分いくらという具合に？  
業者 そうです、回転を速くするために5分でもいいかもしれません、  
場合によっては

成金男 一人500円取ったとしても、2時間で・・ひい、ふう、みい・・

業者 千円でも払うんじゃないですか？ここにいて、足のむくみきつて  
る方々なら  
並ぶ人22 みんなお金を持ってないかもしれないよ  
業者 大丈夫ですよ、だってそういう方々はそもそもこの空間に入れま  
せんから

間。

成金男 なんだか少しくたびれたな  
業者 それはそれは  
成金男 そこにあるイスに座りたいんだが  
業者 ああ、あれですね  
並ぶ人23 え、なんですか  
業者 イスをこちらに  
並ぶ人23 いや、これは私のなんです  
業者 いやいや、この空間はあの人を買ったんですから  
並ぶ人23 そんなこと言われてもこれは私の  
並ぶ人24 そのイスはお前のじゃないだろう  
並ぶ人23 え  
並ぶ人24 お前のじゃないよそのイスは。何勝手に自分のものにしようとし  
てるんだ  
業者 いけませんよ独り占めは

イス、業者により没収される。そのイスに座る成金男。

成金男 では君は先頭に行きたまえ  
業者 いいんですか  
成金男 当たり前だろう  
業者 ではお言葉に甘えて

先頭に行こうとする業者。

並ぶ人25 ちょっとなんなんですかあんた  
業者 え  
並ぶ人25 なんて勝手に前行こうとしてるんですか。こっちはね、あんたよ  
りずっと前から並んでて足がパンパンなんです。当然私の方が先

並ぶ人 3

だと思っただけ、思いません皆さん  
ちよつと待つて下さい。そんなこと言うなら私、並ぶ人3なんで  
あなたより前に行つて当然だと思っただけですよ

並ぶ人 2 5

え

並ぶ人 3

だつてあなた並ぶ人25でしょ？

並ぶ人 2 5

いや、そうですけど

並ぶ人 3

だつたら、ほら、数の若い僕の方が先でしょう

並ぶ人 2 5

そんな、だつて

並ぶ人 3

番号つてのはそういうもんでしょう。それとも何か、あなたは2  
5より3の方が大きいと言いたいんですか

並ぶ人 2 5

とにかく私はもう足がパンパンなんです

立つてるのがやつとなのよ

並ぶ人 3

立つてるのがやつとなら進めないでしょう

並ぶ人 2 5

あの人が勝手にイスを持ってつちやつたせいだわ

業者

それは関係ありませんよ、どうかそれは仕方ありませんよ

並ぶ人 2 5

何が仕方のないのよ、もうこっちはずっと膝が笑いつぱなしなの、  
さつさと座らせてよ

並ぶ人 3

だから私の方が順番が先なんだ

並ぶ人 2 4

ああもう、あんたらいちちうるさいですよ だいたいね、待つて  
ればそのうち嫌でも時間が解決してくれます、そんなちつぽけな  
こと

並ぶ人 3

ちつぽけなことつてなんですか

1 ミリ男

そうですよ、だから、ズレてんですよ

並ぶ人 2 4

え

1 ミリ男

君、左に1ミリズレてて列からハミ出してるつて分かつてる？

ねえ、ハミ出してるんですよ列から

そんなの私の勝手でしょう

勝手にされちゃ困るんですよ

メジャー女

勝手にじゃないですよ、勝手なのはあなたたちでしょう人の予約を

ムダにして

時間売り

ムダ？価値のあるムダですよそれは

メジャー女

やつぱり私の予約は無効じゃないと思っただけです

並ぶ人 3

とにかく私はあなたより前です

フケ愛好家

どうしてフケが好きじゃないんですか、嫌いなはずないでしょう

もちろん好きに決まっていますよね

業者

みなさんいい加減にしてくださいよ

並ぶ人3 あんたが一番前に行くとか言い出すからややこしくなるんです

並ぶ人25 いや、あの人が買い取ったことがいけないんじゃないですか

時間売り ああ、あなたの財力なら僕の時間買えますよね

成金男 えっ

業者 聞く必要ありませんよそんなたわごと

時間売り 僕の時間を買ってくれたら（業者に）あなたは前にいけると思う

んですけど

並ぶ人3 あなた抜け駆けしようって言うんですか

メジャー女 予約の話はどうなったのよ

一ミリ男 あなたがメジャーなんて持つてくるからいけないんだ

並ぶ人25 この際順番なんて関係ないですよ だって私の足はもう

並ぶ人3 そんなのみんな同じですよ

いやいや、あなたが順番守れって言ったんでしょ

まったく平和的じゃないなああなたは我々はただ並んでいるだ

けでいいんですよ

男A ちよっとなんなんですか皆さん

並ぶ人25 え、なんですかあなたこそ

男A いや、僕は

並ぶ人25 あなたは並ぶ人26なんだから一番後ろに行ってくださいよ

男A え

成金男 あの、皆さん

メジャー女 なんなのよあなたは

成金男 なんだかややこしいので、今からこの場にいる方にはお金を払っ

てもらいます

時間売り どういうことですかそれは

業者 ですからここはこの人が買った空間なんですよ？お金を払うのは

当然でしょう

並ぶ人25 なんですかそれは

業者 嫌ならここにいなきやいいんですよ。そうだ、●●に行くなんて

どうですか？（実際に上演される場所の近くにある実在の公共の場

所（公園など）の名前を挙げる）

なぜあなたにそこまで決められなくちゃいけないんですか

1ミリ男 1業者 1メジャー女 1並ぶ人3

ここから追い出すっていうのね

それよりお金を払うっていうのはどうということなの

成金男

だから、指一本でもこの空間に入っていたらその分払っていただくということですよ

時間売り

冗談じゃない

並ぶ人25

聞いてないですよそんな話

フケ愛好家

・お疲れさまでした

並ぶ人26

え、

フケ愛好家

埒が明かないので、帰ります

メジャー女

そんなの私だって同じだよ

1ミリ男

お疲れ様でした

並ぶ人24

お疲れ様でした

並ぶ人3

・お疲れさまでした

並ぶ人たち、解散し始める。

並ぶ人5

あれ、行かないんですか？

並ぶ人25

え、あ・いや・せつかく並んだしな・

並ぶ人5

ぼーっとしてると置いて行かれますよ

行きずりの男

僕たちも、場所変えようか

行きずりの女

ええ、そうね

行きずりの男

どこへ行きたい？

行きずりの女

どこでもいいわ、あなたが決めて

行きずりの男

どこでもいいの

行きずりの女

もちろん、あなたと一緒になら

行きずりの男

・じゃあ、行こうか

行きずりの男と女、2人でどこかへ行ってしまう。

他の並んでいた人たちもどこかに散っていき、成金男と業者も去っていく。

誰もいない空間になる——暗転。



——早朝。日が昇り始めるころ。  
どこからともなく、人が集まり始め行列ができる——  
行列に並ぶ人々は脇目もふらず各々何かに夢中になっている。この後男  
Bが話しかけても誰も一切振り向かない。  
男B、どこからともなくやってくる。最後尾に並ぶ人に声をかける。

男B　みなさん、何してらっしゃるんですか  
並ぶ人27　ああ、みんなで遊んでるんですよ  
男B　みんなで・・・？  
並ぶ人1　そうですよ、どう見たってそうじゃないですか  
男B　え・・・あなた、何して遊んでるんです？  
並ぶ人2　一人ジャンケンです  
男B　あなたは  
並ぶ人3　一人指人形ごっこです  
男B　あなたは・・・  
並ぶ人4　一人睨めっこです  
男B　・・・え、みんなで？  
並ぶ人26　はい。だって同じ空間にいるじゃないですか  
男B　ああ、まあそれはそうですけどね  
並ぶ人26　あ、ここが最後尾ですよ  
男B　はあ  
並ぶ人26　どうしたんですか並ばないんですか  
男B　えっ  
並ぶ人26　一列ですよ一列  
男B　はあ、

間。

男B　あの、みなさん僕に背を向けていませんか  
並ぶ人26　（振り向かないまま会話）気のせいですよそれは  
男B　でも  
並ぶ人26　知らないですか、ほら、よく言うじゃないですか。子は親の背中  
を見て育つって  
男B　言いますけど  
並ぶ人26　そういうことですよ

男B え  
並ぶ人26 だからあなたもこちらを向いて並べばいいんです

上手から並ぶ人27、男Bの後ろに並ぶ。

男B え、あのどうして

並ぶ人27 何ですか、一列でいいんですよね

男B え、ああ

列、少し前に進むが、その場から進まない男B。

並ぶ人27 あの、前に進んでくださいよ 少し隙間あるじゃないですか

男B え、ああ、すいません・・

男B、行列の一員となり前に進む。

並ぶ人1 やっぱここに並びたくなっちゃうんですよね

並ぶ人2 ここに列があるから並ぶのよ

並ぶ人3 もうこんなに後ろに人が

並ぶ人4 気付いたら並んでたんですよ

――再び静かに前に動き出す行列・・・

ゆっくりと暗転していき、終幕――